

出向く営農レポート

小麦栽培の除草について



北部営農センター 瀬戸地区担当
井上 達幾

瀬戸の水野地区を中心に、遊休農地を活用して小麦の栽培に取り組む井上高志さんの圃場に出向きました。

井上さんは、昨年从小麦の栽培に取り組み、今年は1.5ヘクタールほど作付けしています。

12月11日に播種した圃場を確認したところ、順調に芽が出てきており安心(撮影日1月11日)。

目立った雑草は見られませんが、今後の雑草防除に備え「リベレーターフロアブル」を提案しました。

また、施肥の負担軽減のために、「麦ワイドワンタッチ177」の使用を提案しました。元肥に使用すると追肥が不要になる※肥効調節型肥料です。

昨年は、初挑戦だったこともあり除草管理に苦戦しましたが、今年は適期に薬剤を使用し、作業の効率化、収量増加を目指します!

※肥効調節型肥料…肥効を持続させるために様々な方法で肥料成分の溶出を調節した一連の化学肥料



井上 高志さんの圃場

紹介農薬



・リベレーターフロアブル

麦専用の除草剤。*選択性除草剤のため、小麦以外の雑草を枯らします。

- 希釈倍数:60~80mL/10a
- 使用時期:は種後~麦3葉期
- 使用回数:1回

※選択性除草剤とは?
特定の種類の草を枯らします。作付け中にも使用することができます。

「麦ワイドワンタッチ177」をご利用の際は各営農センターにお問い合わせください。



令和5年4月1日からホームページに新しいメニューが追加されます!

家庭菜園で代表的に作られる品目を選定し野菜栽培の基礎が学べる資料を作成しました!

野菜の基本の育て方やこれまで営農相談で受けた質問等を掲載しています。皆様が日頃気になるような質問は野菜ごとにQ&Aとして掲載し、随時更新していきますので定期的にホームページをご覧ください!!

